



比嘉 秀康 議員

恩納村景観条例の運用について

質 恩納村景観条例では、良好な景観は村民共有の財産であり、村民、事業者、行政が協働して守り育てるものとして定められています。また建物の色彩については、自然景観や集落景観と調和する落ち着いた色彩とすることが、基本的な考え方として示されています。しかし村内では、一部の民家、店舗や事業所など、周辺景観とやや調和しにくい色彩の建物が見受けられる。村としては状況を把握しているか。また、なぜそのような状況が生じるのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

村としても認識しています。原因の特定には至っていませんが、届出対象規模に該当しない工事や、平成26年施行の「恩納村景観むらづくり条例」施行以前

の既存建築物といった要因に加え、景観条例や色彩基準そのものが村民や事業者の方々に十分な周知に至っていないことも、こうした状況を生じさせる一因ではないかと考えています。

質 こうした状況に対して村として実際にどのような助言や指導を行ってきたのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

景観条例に基づく指導をこれまで十数件実施している。対象の建物所有者に対して文書による改善通知を行っており、条例の趣旨に沿った対応を求めています。引き続き、色彩、形態、規模など景観形成基準に基づいた適切な指導助言を通じて、良好な景観の保全に努めていきます。

質 色彩基準について、住民や事業所に分かりやすく伝えるための工夫や周知の改善について、どのような考えか。

答 企画課長（宇江城 悟）

周知が十分に行き届いていないことは、課題と受け止めている。周知の在り方を改善することは重要な取り組みである。今後は、ホームページや広報紙のさらなる情報充実に加え、色彩基準となる色見本を用いた誰が見ても分かりやすい資料の整備などを行い、周知の改善に取り組んでいきたい。

質 塗り替えや改修の事前段階で、建物所有者へ色彩確認や相談窓口の案内を行う仕組み等について、村として検討できないか。

答 企画課長（宇江城 悟）

建物所有者の利便性向上と景観形成の両立を図る観点から、事前段階での仕組みづくりについて現在検討している。村の実情に合った対応の在り方について慎重に検討していく。

誰もが移動しやすい恩納村をつくるための二次交通の充実について

質 村民の皆様の日常の移動に関して、村としてどのような課題や村民の声を把握しているのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

令和7年に「恩納村の交通状況に関する調査」として、アンケートを実施した。村民の生活に必要な通勤、通学、買物、通院などの多くは恩納村内では完結していないことから、隣接市町村や広域的な移動は生活にとって必要不可欠なため、自動車へ依存せざるを得ない状況が課題となっている。また、村民から公共交通として求める取り組みは、「福祉バスやタクシートの導入」や「隣接市町村と連携した循環バスの導入」が高く求められている。

質 観光と住民生活の両立を考える上で、観光客向けの二次交通の充実には、避けて通れないテーマだと考える。観光客向けの周遊バスやシャトル交通など、観光客の移動手段の多様化に向けて、どのような方向性を考えているのか。

答 商工観光課長（城野 正和）

観光客向けの二次交通については、以前から観光関係者より必要性が指摘されている。村内ホテルからは観光施設への移動手段の確保に加え、レンタカーを利用しない、または利用できない外国人観光客、もしくは免許を持たない若年層など、従来とは異なるニーズへの対応が課題となっている。このような状況を踏まえ、宿泊税の活用事業の一環として、村内循環交通などの基盤整備の必要性が提案されています。

質 高齢者や子育て世帯の移動を支えるために、オンデマンド交通や乗合タクシーなど、より柔軟な移動手段の導入について、どのように検討しているのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

今後は各関係機関や有識者で構成する地域公共交通推進協議会を立ち上げ、本村の実情に合った柔軟な移動手段の導入について、協議会の意見を恩納村地域公共交通計画に反映しながら策定に向けた取り組みを進めていきたい。



宮崎 匠 議員

前兼久漁港の公園における時計の設置について

質 公園内には現在、時間を確認できる時計が設置されておらず、利用者からは「時間が分かりづらい」、「子供たちの帰宅時間の目安がつきにくい」などの声もあります。様々な観点からも公園は避難場所や地域の集会所として活用される可能性があり、時計の設置は利便性の向上につながるものと考えます。今後、設置に向けた検討の可能性について、執行部の見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

時計の設置は、児童の安全な帰宅の推進など各方面での利便性の向上につながるほか、公園の管理規則で定められた公園利用時間の遵守を促す効果も期待できると考えています。また、前兼久漁港公園隣接の大型駐車場においては、今年度に有料化のほうを予定して

おり、利用者が駐車時間を確認する上でも時計の設置は必要性が高いと考えています。利用者の利便性向上の観点から、今後設置に向けて検討したいと考えています。

基金の運用について

質 現在、多くの自治体において、安全性を最優先に国債や地方債など比較的リスクの低い債券運用を活用し、基金の安定的かつ効率的な運用について検討が進められています。限られた財源を将来世代へ適切に引き継いでいくためにも、基金の運用の在り方について、時代に即した検討が必要であると考えます。安全性を確保した上で、国債や地方債等を活用した基金の運用の検討について執行部の見解を伺う。

答 会計管理者（野原 みちよ）

公金運用については安全・確実が鉄則であることから、財政リスクを十分に認識し管理を行い、満期保有の徹底ができるよう、債券購入額や満期年数等について財政係と綿密に連携を図り、専門的知見を活用し、検討を進めていきたいと考えています。

提 基金運用に関しては、2つの軸で運用していく方向性が重要であると考えます。流動性がある定期預金及び普通預金での運用と、中長期

的な視点で運用するという前提での債券運用、2つの軸で取り組んでいけたら将来的な村財政運営に大きな効果をもたらすと思いますので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

恩納村公民館等施設整備事業補助金の要綱改正について

質 恩納村公民館等施設整備事業補助金について、現状に即した制度内容への見直し及び要綱改正が必要であると考えます。現状からも見て取れますとおり、各行政区が使用づらい現状があると思います。地域住民が安心して利用できる施設環境整備の観点から、防災・防犯設備、あるいは省エネ設備等の新規導入支援を拡充すべきであると考えますが、執行部の見解を伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

地域住民が安心して利用できる住民の身近な施設の環境整備は重要なことだと認識しています。防災・防犯設備の導入支援の拡充については、担当課と連携していきたいと考えています。

仲泊交差点からうんな中学校前の交差点までの夜間二輪車通行規制区間の指定について

質 同区間において、夜間における二輪車の走行音や暴走行為、集団走行等に対する住民からの苦情や不安の声が寄せられています。県内において、夜間の二輪車通行規制区間が指定されている地域もあることから、本村としても地域実情に応じた対策の検討が必要であると考えます。夜間二輪車通行規制区間として指定することについて、村の見解を伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

今現在、石川署のほうは本部のほうに上程しているところと、先日、進捗状況を確認したのですが、今現在、県警本部の交通部交通規制課において通行規制に向けた各種調査を進めているところであるという回答を受けています。

提 夜は静かな状況で眠りにつき、落ち着いた中で安心・安全な暮らしをしていきたいというのが村民の気持ちであると思います。しかし、暴走行為がなかなか止まらない状況もあります。村民の目に見える形で、いつまでにこの区間指定を目指して取り組んでいきますとか、そういった姿勢を示していくのも必要だと思えますので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。